

平成 29 年度 8 月 危機管理士 1 級勉強会 レポート

平成 29 年 8 月 25 日 (金) 16:00~17:30 明治大学 アカデミーコモン 8 階 308B

危機管理士機構では、「危機管理士」資格取得者が危機管理についてご自身で研究されていることを発表していただき、参加者の知識向上にも繋げることと、資格者同士の交流を図っていただくことを目的として、危機管理士勉強会を開催致しております。

今回は、平成 29 年 8 月 25 日に危機管理士 1 級の 2 名の方々に、ご自身、または所属されている会社の防災・危機管理への取り組みを発表いただき、参加者と活発に意見交換を行なっていただきました。

・「構造の安全性と非構造部材の安全性」 早川 文雄 様 (株式会社 日建設計)

「構造の安全性と非構造部材の安全性」というテーマでお話をいただきました。

東日本大震災の被害の実態から、天井や外壁、建物内の設備などの非構造部材の被害が比較的大きくなっている例が見受けられるそうです。そのため、様々な非構造部材の被害により、建物構造において一定の安全水準を満たしていたとしても、機能継続が難しくなる可能性があることについて触れられました。それらの基準に対して想定外を想定し、新たな知見が基準化されていく動きも生まれており、今後予知一層の対策が求められます。



・「世界の防災の方向性指針と開発途上国（インドネシア、フィリピン、トルコ、パキスタン）における防災対策強化のための支援（受援）」 長谷川 庄司 様 (一般財団法人 日本国際協力システム)

「世界の防災の方向性指針と開発途上国（インドネシア、フィリピン、トルコ、パキスタン）における防災対策強化のための支援（受援）」というテーマでお話をいただきました。

ご自身が赴任された海外における防災支援活動のご経験を踏まえ、世界的な防災に関する協力体制やインドネシア、フィリピン、トルコ、パキスタンといった開発途上国に対する防災支援や受援の取組について報告をしていただきました。

国際的な防災に対するの共通認識について、知見を広げる機会となる大変興味深い内容でした。 以上

